

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。

例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉					
E6	E5	E4	E3	E2	E1
D6	D5	D4	D3	D2	D1
C6	C5	C4	C3	C2	C1
B6	B5	B4	B3	B2	B1
A6	A5	A4	A3	A2	A1
簡単な計算可					
簡単な文字・数字の理解可					
簡単な色・数の理解可					
簡単な言語理解可					
言語理解不可					
〈特記事項〉					
C: 有意な眼瞼運動なし					
B: 盲					
D: 難聴					
U: 両上肢機能全廃					
TLS: 完全閉じ込め状態					
寝返り不可					
寝返り可					
座位保持可					
室内移動可					
室内歩行可					
戸外歩行可					
(移動機能)					

ば、ベートヴェン交響曲第5番「運命」。人の聞こえの世界では、音声言語体系が突出しており、それ以外の音について、他者と意味を共有する必要性は人の進化の中に見出されなかったのかもしれない。それでも、重症心身障害児(者)の心に働きかける純粹音楽は何かを知るため、その個別化(名前を付ける作業)は不可欠だと私は考えます。有意な言語理解のない重症心身障害児(者)では、音声言語の音世界はありません。前述の純粹音楽が、音の世界



の主体でしよう。それは、健常者が音楽とみなすものより広く、社会音や自然の音まで広がっていると思います。重症心身障害児(者)が心地よい緊張感をもつ音色・リズム・メロディーは何かを経験から見つけていかなければなりません。そして、それに名前をつけて、心のひかれ具合を階層化していかなければなりません。難しい課題ですが、私たちの職務とっています。

こだまの 日常生活紹介 渥美 友香理



Aさん(横地分類A1)の日常生活では、物の動く様子を見て楽しむ活動を行っています。活動の準備のためにAさんの側でロープウェイのように紐を使って傾斜を作っていると、準備している職員のほうに視線を向けています。ロープに紙風船の入った透明な容器を吊り下げてゆっくりと滑らせると、紙風船入りの容器が動く様子をじっと目で追い注目していました。もう一度同じように紙風船をゆっくり滑らせると、動きを追いだんだん表情が緩んでいきま

した。ロープの代わりに、板で傾斜をつくり紙風船入りの容器を滑らせると、動きを追いかけるようにして注目していました。途中で、板の斜度を緩くして容器の動きを止めると、表情が真顔になり、次に動くことを期待しているような表情でじっと見つめていました。再び傾斜をつけて動き始めると、うれしそうに表情が変わり見えなくなるまで動きを追っていました。動いていた物が止まり再び動き出す様子に面白さを感じているようにでした。何度か繰り返すと、スタート位置に素材を置いただけで、笑顔になり身体に力が入って動き出す事を期待している様子がありました。板の上を滑るときは容器が擦れて音が出るため、より面白さが高まっているようでした。新聞を小さく畳んだ状態からゆっくりと広げていくと、職員の手動きと広がっていく様子をじっと見ていました。広げた大きな新聞紙をビリビリとゆつくりと破っていく、最後に破れて2枚になると目を大きくさせていました。形が変わったことに驚いた様子でした。音をたてながら破ったり丸めたりすると、形や大きさの変化する様子や動きによって音の強弱を興味



うららの 日常生活紹介 片所 加代子

Aさん(横地分類A1)は就学前の小児です。興味のあるものを見つけると、背中を弓なりに反らせ、足で蹴るようにして頭の方へ動きます。日中は同年代の利用者と一緒

深そうにじっと注目していました。短冊状に切れた新聞をヒラヒラさせると紙の動きを目で追い、掴もうとするように指を広げていました。新聞を近づけると掴み、職員が端を引っ張るとしっかりと離さずに持っていて綱引きのような抵抗感を楽しんでいる様子がありました。